

「今月の1枚」

カワセミ *Alcedo atthis*



写真1 水辺のカワセミ 1月8日 神田川にて撮影

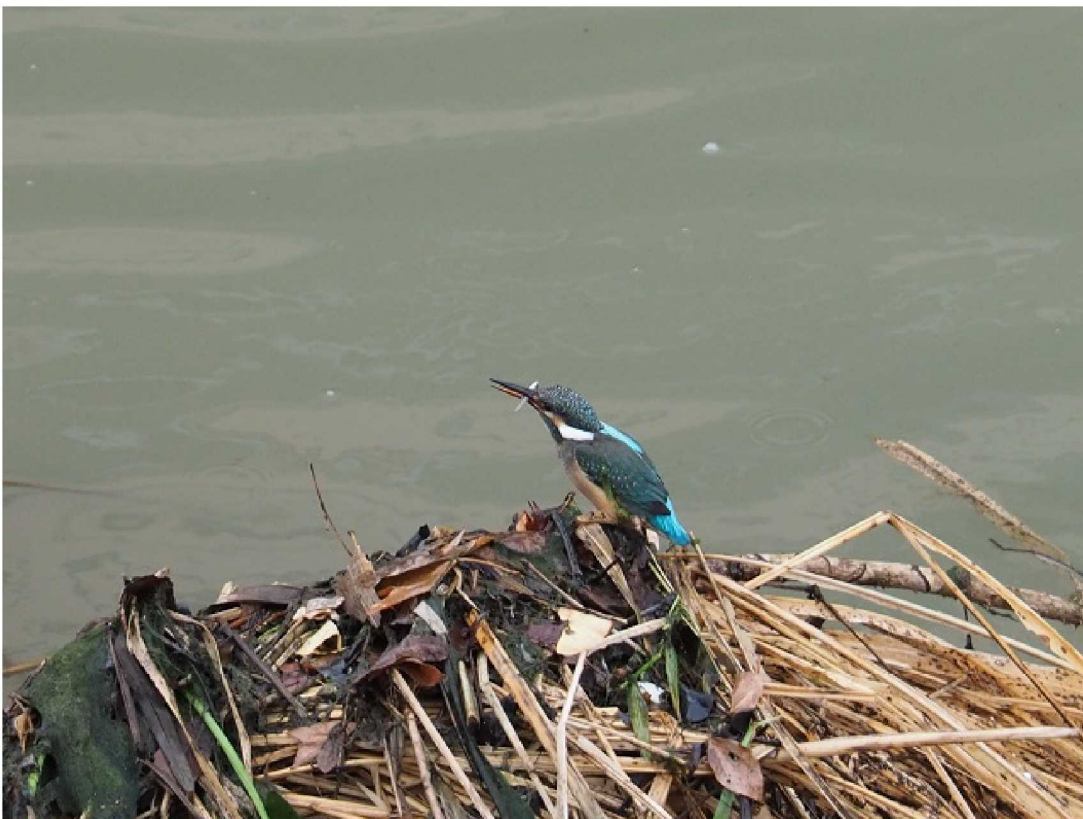


写真2 魚をくわえるカワセミ 1月8日 神田川にて撮影



写真3 コガモ 1月3日 神田川にて撮影

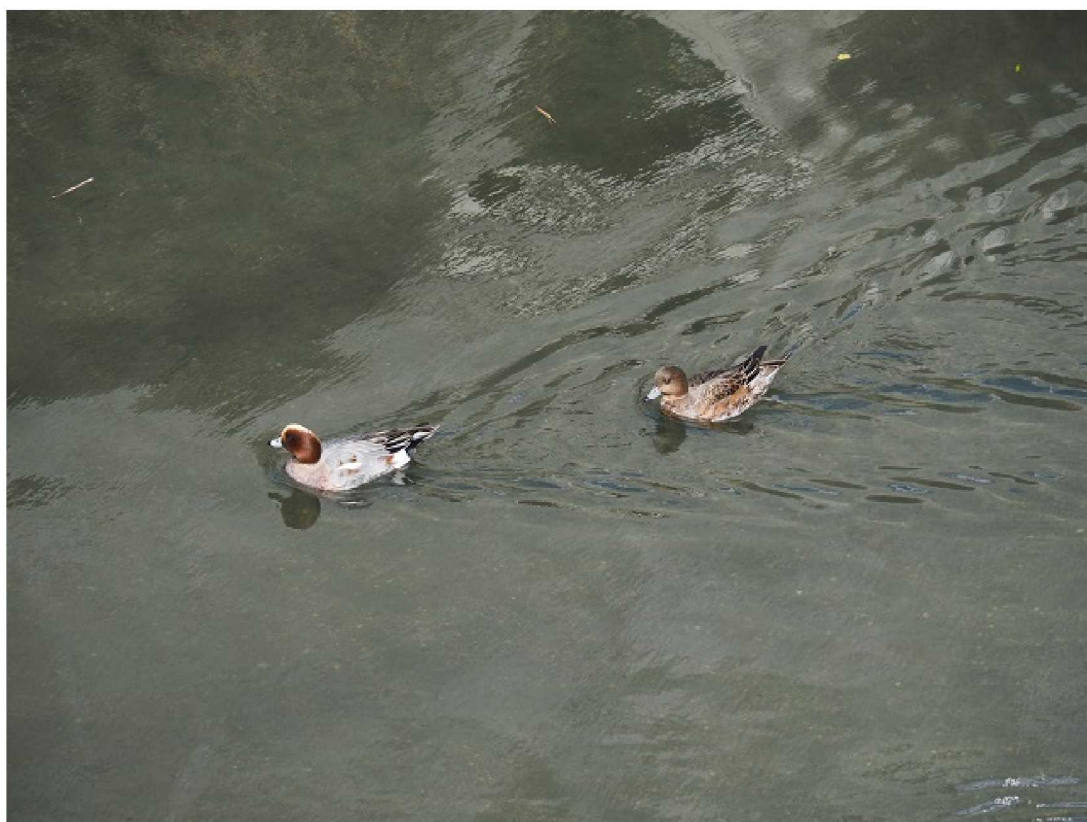


写真4 ヒドリガモ 1月3日 神田川にて撮影

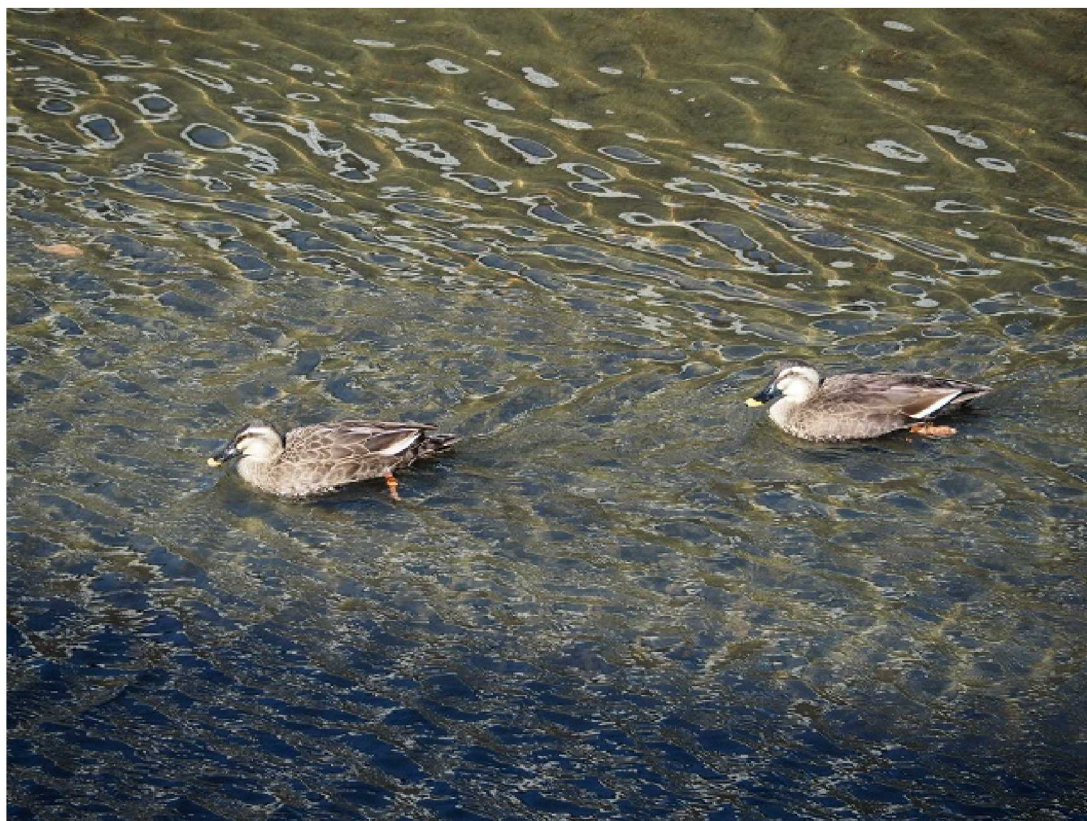


写真 5 カルガモ 1月3日 神田川にて撮影

水辺で見かける鳥です。小さなからだの割には頭が大きく、嘴(くちばし)が長いので何だかかわいらしく見えます(写真 1)。

図鑑によれば、体長17cmほどで、カワセミの仲間の中では最小。平地から山地の池、湖沼、川などに生息し、水の上の横枝、杭、石などにとまって、水中の魚をねらう、と紹介されています。

撮影したのは、1月8日の午後、高知市を流れる神田川(こうだがわ)です。この日は、午前中に激しい雨が降り、川が増水したためでしょうか、カワセミ君は狩りができず、とてもお腹を空かしていたのだと思われます。

雨が止んだ午後には増水もおさまリ、カワセミ君は、ここぞとばかり餌となる魚をねらうことに集中していたようで、私がカメラをもって近づいても、こちらを気にする様子はまったくありませんでした(写真 2)。

なお、冬のこの時期、神田川ではコガモ、ヒドリガモ、カルガモ、まれにカイツブリなどの、冬にやってくる水鳥たちが餌を求めて泳いでいます(写真 3、4、5)。

(写真・文：酒井寿夫 2018年1月8日 高知市槇山町にて撮影)

(No.275 2018.1.11 掲載)